

公益財団法人 花王芸術・科学財団
平成 30 年度 (給付型) 奨学金 募集要項 【花王佑啓奨学金】

対象 : 大学院(修士課程)のみ

⌘ 花王芸術・科学財団について

公益財団法人 花王芸術・科学財団は、1990 年に花王株式会社の 100 周年を記念して設立された財団で、美術・音楽分野における芸術文化活動への助成や、科学技術分野の研究助成と優秀な研究者の顕彰及び、文と理を融合する総合研究への支援としてシンポジウムを開催しています。

⌘ 奨学金の目的と名称について

この奨学金は、花王株式会社 元社長の常盤文克氏による、優秀な学生たちに夢と明るい未来を切り拓いてほしいとの思いを込めた寄附により、新設されました。

科学技術分野での勉学に励む日本人学生のうち、学業優秀で高い自己の成長意欲を有しながら、経済的な理由で修業が困難な学生に対して、チャンスをつかみ、明るい未来を切り拓いていく支援の一助となることを目的とし、名称を『花王佑啓(ゆうけい)奨学金』と名付けました。

花王佑啓奨学金 応募資格

下記の全ての条件を満たす者を対象とします。

- ① 科学技術分野での勉学に励む日本人学生で、2018 年 4 月に財団が指定する大学の大学院(修士課程)1 年に進学することが決定しており、下記の研究(※1)を行う満 30 歳以下の正規学生。

(※1)〈化学・物理学分野〉

固体表面、固液界面、触媒、超微粒子、コロイド、分子集合体、ナノマテリアルなどにおける新規な作成法、計測法、新規物性発現、機能創出、デバイス展開など界面と表面の科学に関する研究

- ② 健康で、学業成績・人物ともに優れており、高い自己の成長意欲を有し、自身の研究の指導教員(※2)の推薦を経て、学校長(※3)の承認のもと、当財団へ申請される者。
原則として、申請人数は 各大学 1名とします。

(※2)編入等により、進学した大学院の指導教員の推薦が難しい場合は、申請者について詳しい方

であれば、卒業された大学の指導教員に記載頂いても結構です。但し、その場合であっても、当財団指定の大学の学校長の承認とします。

(※3) 大学の方針として学校長の承認制度をとっていない場合は、科長の承認でも結構です。

③ 学費の支弁が困難と認められる者。

(世帯収入(税込)合計800万円未満または事業所得360万円未満の家庭。但し、本人が独立生計の場合は、本人および配偶者の総収入金額とする。)

給付内容

- ① 給付額： 月5万円（年額60万円、2か月毎に振込み）
※初年度：8月に遡り含め4～9月分、以降偶数月に2か月分振込み。
※給付であり、返還を要しない。
- ② 給付期間： 最短修業年限（大学院修士課程2年間）
- ③ 併用について： 貸与型の奨学金制度との併用は可能とするが、給付型との併用は不可。但し、所属大学が行う学費免除制度や、大学独自の給付型奨学金（学費の充当を目的とする）の場合は、併用を可能とする。

募集人数

7名程度。

申請と選考方法について

応募する者は、財団が指定する大学(推薦依頼校)の学生課に申請し、指導教員(※2)の推薦の上、学校長(※3)の承認のもと、下記書類とともに、大学経由で申請してください。学生本人による直接申請は受け付けておりません。

推薦依頼校は、推薦者1名の奨学生候補者の申請書類一式を、下記の提出期限までに財団宛にお送りください。

<申請期限>： 2018年5月22日 当日消印有効

提出先：〒103-8210 東京都中央区日本橋茅場町1-14-10
公益財団法人 花王芸術・科学財団 宛
TEL:03-3660-7055

【申請書類】 書類の返却はいたしません。A4サイズ(角2)の封筒に入れ、書類を折らずにご送付下さい。

- (ア) 奨学生願書 <指定書式あり 財団ホームページからダウンロード>
証明写真1枚貼付のこと。(たて4.5cm×よこ3.5cm 6か月以内に撮影したもの)
- (イ) 奨学生給付推薦書 <指定書式あり 財団ホームページからダウンロード>
- (ウ) 在学証明書
(推薦書に正規に在学していることを証明する旨の記載がある場合は不要)
- (エ) 学業成績証明書 (直前の修了課程の成績証明書)
(大学がGPAを発行している場合は、GPAも併せて添付のこと)
- (オ) 健康診断書
(健康診断書の提出が間に合わない場合は、追って送付する旨でも可能)

※所得証明の提出は要しませんが、在籍する大学の学生課において、市区町村の前年度所得証明書等により、当該条件に該当する旨の確認をしてもらい、学校長(※3)の承認のもと応募してください。

※(ア)奨学生願書と(エ)学業成績証明書を重要視いたします。

※(ア)、(イ)の申請書類の書式は、花王芸術・科学財団のホームページから様式をダウンロードし、パソコンで作成してください。ダウンロードする際のパスワードは、学生課に確認して下さい。

各大学から提出を受けた申請書類をもとに、奨学事業選考委員会にて書類選考(第一次審査)、面接(二次審査)(※4)の二段階で行った上、理事会にて決定し、7月下旬までに、推薦依頼校及び応募者本人宛に通知を郵送します。

(※4)書類選考の合格者のみ、二次審査として面接を行います。面接会場は都内(未定)にて7月14日(土)に実施を予定しており、実費相当の交通費を支給します。

奨学生の責務について

- 毎学年度末には成績証明書を提出してください。
- 他の貸与型の奨学金制度との併用は可能ですが、併給を受ける場合は、財団宛にその旨を届け出てください。学費免除制度の併用の場合も同様とします。
- 財団主催行事(採択後、年に一度実施する交流会)への出席を優先してください。
→2018年度は、8月19日(日)に実施を予定しております。
- 奨学生の連絡先、病気や事故で長期欠席、または休学、留学、転科、留年など奨学生の学習や生活状況に重要な変化が生じた場合には、速やかに財団へ届け出てください。

- 進路が内定または確定した場合は、就職先・進学先などを事務局にお知らせください。

<注意>

次の場合には奨学金を中止し、その事由等によっては支給済みの奨学金の返還を求めることがあります。

- 奨学金を必要としない事由が生じたとき。給付期間中に応募資格を満たさなくなったとき。
- 提出書類および届出事項に虚偽があったとき。
- 病気、事故等により、卒業の見込みがなくなったとき。
- 学業、生活等に重大な支障が生じ、奨学生として適当でなくなったとき。
- 学業不振による留年をしたとき、在学学校で処分を受け学籍を失ったとき、または退学したとき。

その他

- 奨学生は、花王株式会社への入社、その他の付帯義務を負うものではありません。

- 『花王佑啓(ゆうけい)奨学金』について

「佑」(たすける)、啓発・啓明の「啓」(ひらく) を合わせてつくった言葉です。

花王の創業者・初代 長瀬富郎の「天佑は常に道を正して待つべし」という遺訓もあり、花王では「佑啓塾」という名の研修所(常盤氏が命名)もあるほど、馴染みが深い言葉です。中国の古典『孟子』で、古代、周の文王・武王親子の故事を記した下りに「我が後人を佑け啓くに、みな王道を以ってし、欠くるなし」という一節もあります。

お問合せ先

事務局： 〒103-8210 東京都中央区日本橋茅場町 1-14-10

公益財団法人 花王芸術・科学財団

TEL： 03-3660-7055

ホームページ： <http://www.kao-foundation.or.jp/>



花王財団

検索

奨学生願書

<財団記入欄>

公益財団法人 花王芸術・科学財団 御中

※この1枚目の書式は変更しないでください。

ページ (1/3)

フリガナ						財団記入欄		
氏名								
生年月日	西暦：	年	月	日	写 真 (4cm × 3cm) 6か月以内に撮影したもの 写真裏面に氏名・学校名 明記のこと			
性別	男	・	女	年齢			満	歳
大学名	大学： 学部・学科：							
大学院名 (進学予定)	大学院： 研究科・専攻：							
本人 現住所	フリガナ：							
	〒							
	電話：			携帯：				
	※いずれかに○印： 自宅 ・ 寮 ・ 下宿 ・ その他 ()							
E-Mail：								
研究室 住所	〒							
	電話：							
緊急連絡先 住所 (家族) ※同居の場合 は不要	〒							
	電話							
	氏名				続柄			
家族氏名	続柄	年齢	家族氏名	続柄	年齢			
受給中の奨学金	団体名：			貸与 月額支給額				
所属大学独自の奨学金 や学費免除	名称：			免除額 (給付額)				
申請中 又は 受給予定の奨学金	団体名：			貸与 月額支給額 (利子の有無：有・無)				
	団体名：			貸与 月額支給額 (利子の有無：有・無)				
上記の記載事項に関して相違はありません。								
西暦 年 月 日								
応募者氏名 (自署)						Ⓜ		

【応募者氏名：】 _____

ページ (2/3)

※ここから下の文字サイズは11ポイントで記入ください。内容が様式の行数内に収まらない場合は、自由に行数を追加頂いても結構ですが、①～⑤が計2枚以内に収まるよう記入してください。

① 大学院進学目的、研究テーマ・研究概要、及び学会活動（発表、若手の会への参加など）について。

② 自身の研究分野における、世界での最近5年の動向（主要文献数件を挙げて説明してください）。

③ 学部時代、学業に関連して夢中になってやったことについて（その理由 及び それを通じて得たものなど）。

④ 研究者としての将来の抱負、卒業後の人生設計等。

⑤ その他 特記事項

奨学金を希望するに至った事情（希望する理由について）や、学外活動の状況（研究のアウトリーチ活動、その他ボランティア活動）など

奨学生給付推薦書【花王佑啓奨学金】

公益財団法人 花王芸術・科学財団 御中

下記の者は貴財団の奨学金 募集要件を満たし、奨学生として適当な者と認め、推薦することを承認いたします。

年 月 日

学校名 (※a) : _____

学校長名 (※c) : _____ <印>

編入等により (※a) と (※b) に相違があっても当財団として差し支えはありません。

(※c) 大学の方針として学校長の承認制度をとっていない場合は、科長の承認でも結構です。

応募者氏名	
応募者所属 (進学予定大学院)	
研究テーマ・課題	
<推薦者> 指導教員名 <small>※申請者について詳しい方であれば、進学先の指導教員ではなく、卒業された大学の指導教員に記載頂いても結構です。</small>	上記の者を、貴財団の奨学生として推薦いたします。 所属機関 (※b) : 職名 : 指導教員氏名 (自署) : ⑩
推薦所見	
人物概評	
その他	

家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	学群 _____ 学類 _____ 年次 _____											
	学籍番号						性別	男・女		現住所	〒 _____ TEL (_____)		
	フリガナ												
	氏 名						家族住所	〒 _____ TEL (_____)					
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年 齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称	給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額				
		父				年		万円	万円				
	母					年		万円	万円				
	父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)												
	主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)												
						年		万円	万円				
						年		万円	万円				
						年		万円	万円				
						年		万円	万円				
	別 居 者 に × 印	就 学 者	続柄	氏 名	年 齢	学 校 名	設置者別	学校種別	通学別	控 除 額			
本人					筑波大学	国立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円				
					※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円					
					※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円					
					※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)	※自 宅 自 宅 外	万円					
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無										
	障害者がある世帯		※有・無	続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()									
	その他												
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)				認 定						
	アルバイト		月額 (千円) 内容 (_____)				総収入金額		① 万円				
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 (_____)				必要経費		② 万円				
		申請中	月額 (千円) 団体名 (_____)				特別控除額		③ 万円				
	その他の収入		月額 (千円) 内容 (_____)				総所得金額		④=①-②-③ 万円				
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数	人		
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤	万円		
	修得単位数または科目数									家計充足率		⑥=④÷⑤×100	

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
(父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
(父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のある世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあっては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあっては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。